



九州不動岩だより

NPO法人武道和良久 九州本部道場 手力庵

2026年
秋号

ぶどう わらく 武道和良久とは

その2「武道と神道」

以前小学校で5、6年生を対象にお話をしたことがあります。その時子供達に「お正月に神社にお参りに行きますか」と尋ねたところ、殆どの子供が手を上げました。そして、「神社に神様がいると思っているのかなあ」と聞くと殆どが頷きました。ちなみに子供達への話はそこから、「人が見ていなくても良いことも悪いこともお天道様（神様）が見ているので・・・」と言う話になりました。このように日本人は、特定の宗教に関係なくお正月は神社に参拝されます。

さて、日本は、古くから神国と言われていました。本来の武道は神道と密接な関係にあると和良久は捉えています。多くの既存武道は、稽古前に神前に礼をして稽古を始めます。それは和良久も同じです。しかし、稽古する技が大きく違います。多くの武道は、そこから相手を倒したり、投げたりする稽古に入ります。一方和良久は、木剣を構え右手は上下、左手は左右に旋回させながら刃先を螺旋させる技を行います。洗濯機が右回転・左回転するように旋回させます。皆さんは、神主さんから榊などを左右に振ってもらいお祓いを受けた経験があると思いますが、和良久の技はそのお祓いを木剣の旋回でやっているのです。つまり、和良久の技は、邪悪なものを祓い清める大祓の神事でもあるのです。～続く。



武道和良久HP <http://www.walaku.com/>



体験会、随時開催中！

ワラクや言霊剣のお話のご見学や体験会を実施しています。動きやすい服装と靴下着用で来ていただければ、道具は貸出いたします。武道未経験、運動未経験大歓迎です！一緒に言霊の武道を体験してみませんか♪

〇〇〇〇稽古日〇〇〇〇

○手力庵(山鹿市蒲生224) 毎週土曜日13:30~15:30

○光が丘公民館(福岡県筑紫野市光が丘4-4-1)

毎週木曜日10:00~12:00 毎週土曜日13:30~15:30

※ご注意※

光が丘公民館は会場改修のため、年内は牛首公民館に稽古場所が変更となっております。

牛首公民館

(福岡県筑紫野市牛首330-70)

問合せ:090-9072-2289(永井)、waraku.kyushuhonbu@gmail.com

※都合により稽古日が変更となる事があります。参加希望の方は事前にご連絡ください。



【令和8年熊本地震】7月28日熊本地震が発生。八代に住む知り合いの被害状況を見に八代に行きました。八代に近づくにつれて家屋の倒壊、道路の亀裂などが目に入ります。そんな中、道路復旧作業にあたっている作業員の方の姿がありました。40度近くの炎天下で黙々と作業されている。そのトラックは県外ナンバー。他の現場でも県外ナンバーを見かけました。各地から多くの方が駆けつけてくださっている。日本人が培ってきた助け合い、支え合う「和の精神」。その姿を見て心の奥から熱い思いが湧き上がってきました。そして、日本人としての誇りを感じました。(手力庵 永井雄二)

コガリカのお稽古忘備録(11) 一霊四魂入魂式

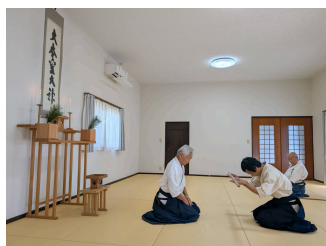


この稽古において相手を打つというのは、その方に「言霊」を打ち込むいわば「一霊四魂の入魂式」なのだとご教授いただいた。決して相手を打ちのめしてはならない。言霊の法則に従い相手にしっかりと一霊四魂を入魂させていただく。丁寧に丁寧に真心を込めて的確に打ちを放つ。お稽古は祈りなのだ。(福岡道場長 古賀利香)



【活動報告】

熊本や大分で新しい稽古人さんが入門されました。九州でも和良久の螺旋の渦を感じています。



また、2名の稽古人さんが上の稽古段階にステップアップをされました。更なる高みを目指し、一同研鑽してまいります。(岡田優花)



火と水

被災地への井戸掘り支援



熊本地震の発生直後、現地では水道などのライフラインが切断され、多くの被災者が深刻な水不足に直面しました。これを受け、被災地での「井戸掘り支援活動」を実施いたしました。

水道の復旧には時間を要する中、地下水を汲み上げる井戸は、飲料水や生活用水を確保するための命つなぐ存在となります。皆様からの温かいご支援とボランティアさん達の協力のもと、被災地域に計8箇所の井戸を設置することができました(9月7日時点)。現地からは「水が使えて本当に救われた」「将来の災害対策にもなり安心」といった感謝の声をいただきました。本活動にご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げますとともに、今後も地域に寄り添った支援を続けてまいります。(石井清輝)

熊本のじいじの「自然の話」

菌根菌とはなんだ？(2)



今回は、菌根菌と植物がお互いに養分を供給し合って助け合う「共生」関係にあることをお話しました。ではこの共生関係はいつから始まったのでしょうか、はるか4億年前、植物が水中から栄養の乏しい陸上へ進出する際、初期の植物は根や十分な組織を持っていませんでした。菌根菌が初期の植物と結びつき、土壌中のリンや水分を供給する代わりに、植物から光合成産物（糖分）を得る関係を築きました。今の陸上の多様な植物も、土の中の菌類との共生という営みを数億年にわたって、ともに進化をしてきたのです。(高田則行)